

## 前回定例会（平成29年2月1日）以降の主な動き

平成29年3月1日  
資源エネルギー庁  
柏崎刈羽地域担当官事務所

### 1. 原子力・エネルギー政策関連

- (1) 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会 放射性廃棄物ワーキンググループ（第30回）【2月28日開催】

平成26年9月の最終処分関係閣僚会議で合意された、「科学的に適性が高いと考えられる最終処分候補地の具体的要件・基準等について専門家の更なる検討を進める」を受け、本WGにおいて検討を行う。

第30回は、科学的有望地に関するマップの提示に向けた検討事項（マップ提示の意味合いの再確認、マップ提示後の対話活動の進め方など）について議論。

### 2. その他

- (1) 電力インフラのデジタル化研究会（E-Tech研究会）（第3回）  
【2月6日開催】

電力インフラのデジタル化を実現しうる具体的な価値（収益性向上、海外展開など）を検討しつつ、国全体の電力産業の競争力強化に資する項目について、具体施策を議論。

第3回は、日本の電力産業の強み及び競争力強化などについて議論。

- (2) 総合資源エネルギー調査会基本政策分科会 電力システム改革貫徹のための政策小委員会（第5回）【2月9日開催】

競争活性化の方策と競争の中でも公益的課題への対応を促す仕組みの具体化に向けた検討を行う。

第5回は、電力小売全面自由化に関する進捗状況、電力システム改革に係る今後の検討の進め方などについて議論。

- (3) 本邦における資源開発の在り方に関する検討会（第3回）【2月24日開催】

本邦における石油・天然ガス等の特定鉱物の資源開発政策のあり方について、技術的・専門的な検討を行う。

第3回は、鉱業権に係る事業着手延期・事業休止認可の運用見直しなどをまとめた「検討会とりまとめ（案）」について議論。

(4) トップランナー対象機器の追加【2月24日】

エネルギーの使用の合理化等に関する法律（省エネ法）施行令を改正。エネルギーの使用の合理化を図ることが特に必要な機器（トップランナー対象機器※）として、新たに指定の要件（※）を満たしたショーケースを追加。

※トップランナー対象機器は現行31品目（自動車、エアコン、蛍光灯、テレビなど）。

※冷蔵又は冷凍の機能を有しないものを除くなど

(5) 石油精製・流通研究会（第6回）【2月27日開催】

低廉かつ平時・有事を問わない全国での安定供給を確保していくため、内需の継続的な減少や災害対応能力の維持・強化の必要性等、石油精製・流通業界共通の課題に対して、どのように向き合うことが期待されるか、検討を行う。

第6回は、石油精製分野における課題認識（国内需要の減少、国際競争の激化）と政策の方向性（国内製油所の国際競争力強化、石油精製事業による海外展開の促進）などについて議論。

(以上)